



挨拶

書記 篠崎 友香

会報誌をご覧の皆さん、こんにちは。書記を務めさせていただいている、11期生の篠崎 友香です。

私が同窓会の役員となるきっかけは、二十歳の集い実行委員をつとめたことでした。その二十歳の集いも、学校の先生方の手をほとんど借りることなく、当該期生が主体となって企画することができるようになってきました。

各期、それぞれの思いをもってイベントを企画しており、後輩の頼もしさにただただ感心するばかりです。

企画実施にあたり、前年度に実施した期生にも協力してもらい、当該期生がより良い形で二十歳の集いを開催できる基盤も整いつつあります。

今後も安定して二十歳の集いの開催ができるよう、サポートを続けていきたいです。

同窓会自体も、メンバーが主体的に運営を行うようになってから約5年がたとうとしており、最近では「より持続的に運用する」ための取り組みも始まっています。

これからも、槻の木生・同窓生の力になれるような取り組みを行っていきたくと考えています。

ご要望等がございましたら、お気軽にご連絡ください。



2024年3月10日(日)にて、槻の木高校同窓会主催の17期「二十歳の集い」を実施いたしました。

数年ぶりに制限の無い形での開催です。私たち17期生は在学中の2年生の時からコロナ禍が始まり、体育大会や文化祭といった様々な学校行事に制限がありました。

日常の学校生活の中でも、分散登校やマスク着用、黙食など多くの制限を受け続けた2年間でした。

そんな制限から解放され、2年ぶりに再会した17期生のみんなの顔は明るさに満ちていました。

会場となったのは、昨年11月に茨木市にオープンされたばかりの「茨木市文化・子育て複合施設 おにくる」内の1Fにある「きたしんホール」。例年の開催場所はホテル等で、食事などは会場のスタッフさんにお任せする形であったのですが、今回は会場セッティングから食事の提供まで、開催に必要となる準備の全てを、各クラスから選出されていた同窓会委員で行う形をとりました。この形で実施した最大の理由は、出来るだけ多くの17期生に、この「二十歳の集い」に参加して欲しかったからです。



昨今の物価高の影響から、例年の形で開催すると参加費がとても高額となってしまい、参加したくても出来ない人も出てきてしまうのでは?という考えから、より安価でより楽しい会にするため、「自分たちで運営を行う二十歳の集い」の実施に踏み切りました。

会はお世話になった槻の木高校の思い出の先生方のお祝いメッセージ動画から始まり、会場に駆けつけてくださった担任の先生方の激励の言葉の後、同窓会委員会委員長であった私の開会宣言をもって開会しました。みんなが会場のそこかしこで笑い声を響かせていました。その間、私たち委員会は会の運営に奔走していましたが、高校時代の文化祭の運営を思い出すような感覚すらあり、私たちは私たちが「二十歳の集い」を楽しんでいました。あっという間に閉会の時間となり、最後に参加者全員での



集合写真を撮影し、同窓会委員会副委員長の閉会宣言をもって、17期「二十歳の集い」は閉会となりました。

この場を借りて、協力して下さった方々に感謝を申し上げます。

そしていつの日かまた、皆様の「笑顔」が見られることを願っております。

理事 17期 原口 真海楽

